

弊社は、昭和19年に高松市塩上町で塗師屋として漆塗座卓の製造販売から始まりました。

当初は、座卓木地を他社から仕入れて漆を塗っていましたが製品の品質と理想を向上させる為座卓木地も自社にて製造することに

踏み切り現在の基礎を創り上げました。

昭和37年に本社工場を上福岡町に移転して漆器・座卓・和家具の製造に加え今後の生活環境の変化に対応する為、洋家具特にリビングセット、キャビネットの製造を開始いたしました。

平成3年にうるし公開工房とショールームを新築して、一般公開をしています。

これは、昭和63年に瀬戸大橋開通に伴い「ルート88構想」として、魅力ある地域づくりの四国紹介周遊ルートづくりの構想、通産省によって策定された「21世紀への四国地域産業ビジョン～生かせ！本格架橋時代～」に提言されたものです。

四国外から観光旅行、修学・研修旅行など訪れた人々を中心に、四国の活気や魅力を時に楽しく、時に味わい深くアピールしています。

「人間の手仕事尊重の理念」として、漆塗の技術が洋家具作りにまで伝わり、細部にまできめ細やかな手加工技術を駆使して、オートメーションでは決してかなえられない人の手が創り出す温もりのある、肌合いの良い仕上げになっています。

また、多様なライフスタイルに合わせてトータルコーディネート出来る多様なスタイルの洋家具から和家具までを揃えています。

「いい家具をいつまでも」さまざまな暮らしの中に、家具の担う大切な役割があります。私たちはつねにお客様が本当に気に入ったものを安心して長くお使いいただけることを願って家具づくりを続けております。

家具をご購入いただいた時から始まるお客様とのお付き合いを第一に考え、一人ひとりのご要望に答えできる様務めております。

弊社の安全への取組は、社員の安全への理解を深める為、各部署の危険要因洗い出しと、「リスクアセスメント」実施、対策立案に継続的に取り組んでいます。

ゼロ災害を目指し。

株式会社 森繁

総務部 小林 幸信